

平成 29 年度 漢字まなび活動助成 活動報告書

団体名： 北海道漢字同好会

代表者名： 下山 肇

下記の活動について活動を終了いたしましたので、報告いたします。

記

1、活動名	第 22 回特別講演会 「謎の漢字」～その誤字も実は正解かも～ 講師：笹原宏之氏
2、活動日・活動期間	平成 29 年 11 月 18 日（土）13:30～15:30
3、活動場所	道民活動センター 710 号会議室
4、活動目的	漢字と漢字文化を深く学ぶため、 また漢字に対する関心を高めるために開催
5、対象	同好会会員・一般の方々
6、参加費	500 円
7、参加人数 内訳	116 名 (会員 26 名・一般 90 名)
8、活動結果 (自由記述・写真貼り付け等可)	<p>今回のキーワードは漢字の「多様性」とそれをを用いる人間の「おおらかさ」でした。普段何気なく書いたり読んだりしている漢字が、時代・地域・世代によって様々な字体があるという実例を豊富に提示しながら、「正しい漢字」「誤った漢字」と簡単には決められないことの理解へ導いてくださいました。</p> <p>提示例について実情を知るために幾度も聴衆の挙手を促し、その結果を分析しながら解説を加える今回の講演は、これまで当会では例のない参加型といえる内容でした。聴衆もかなり満足した様子で、アンケートでもっとも多くつかわれていた「楽しかった」という言葉にそのことが表れていたと感じます。</p> <p>人名・地名の膨大な資料を調査した経験や感想、常用漢字の改定に直接携わった委員としての経験談などから、講師の漢字使用観察に対する熱意なども伝わってきました。</p> <p>「誤字というラベルを貼った瞬間に漢字の発展はとまる」という締めくくりの言葉が印象に残る講演会でした。 (アンケートの集計結果も添付いたします。)</p>



以上